

新興国レポート

# アジアのインフラ需要が倍増

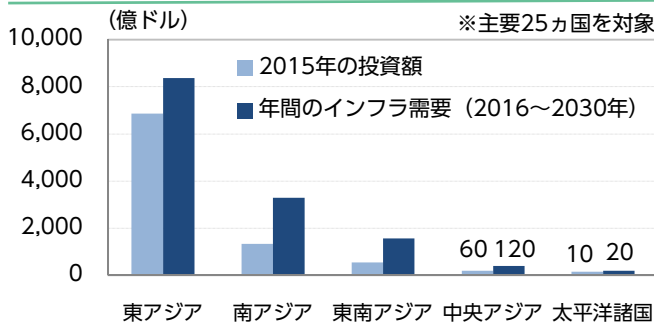
## 需給ギャップの解消には民間資金の活用が不可欠

- 2016～2030年のインフラ需要が26兆ドルに上るとアジア開発銀行が報告書をまとめた。
- アジアでは電力の供給網や道路の整備など、インフラ需要に投資が追い付いていないのが現状。
- 需要額の不足分に関しては、民間資金を活用して不足分を埋め合わせていくことが必要か。

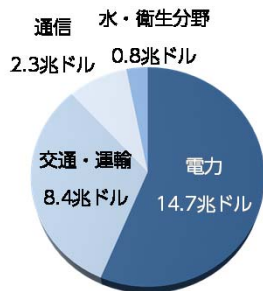
アジア開発銀行（ADB）が2016～2030年にアジアのインフラ需要が26兆ドル（約3,000兆円）に上るとする報告書をまとめた。地域に行き届いていない電力の供給網や道路などを整備する必要性を指摘しています。アジアではインフラ需要に投資が追い付いていないのが現状です（図表1）。ADBなどの開発機関による支援も2.5%にすぎないため、各国・地域が財政改革を通じて資金を捻出し、民間資金を活用するように提言しています。以下要約です。

- ✓ 投資予測額（気候変動に伴い必要となる投資額含む）を分野別にみると、最大のものは電力で14.7兆ドル、次は交通・運輸で8.4兆ドル。また通信で2.3兆ドル、水・衛生分野でも同期間において0.8兆ドルの投資が必要となる（図表2）。
- ✓ 地域別でのインフラ需要は61%を東アジアが占めている。対国内総生産（GDP）比では、太平洋地域が9.1%と最大の投資を必要とし、次いで南アジアの8.8%、中央アジアの7.8%、東南アジアの5.7%となっている。東アジアの投資需要は対GDP比で5.2%となっている。
- ✓ 2015年にADBなどの国際開発機関による支援がインフラ投資に占めた割合は約2.5%にとどまっていることから、公的機関による支援だけで需要ギャップを埋めるのは困難。
- ✓ アジアのインフラ投資は公的資金が中心であり、民間部門は低水準となっている。将来の必要額（4,570億ドル）との差額（2,620億ドル）は民間資金を活用する（図表3）ことが必要であると指摘。

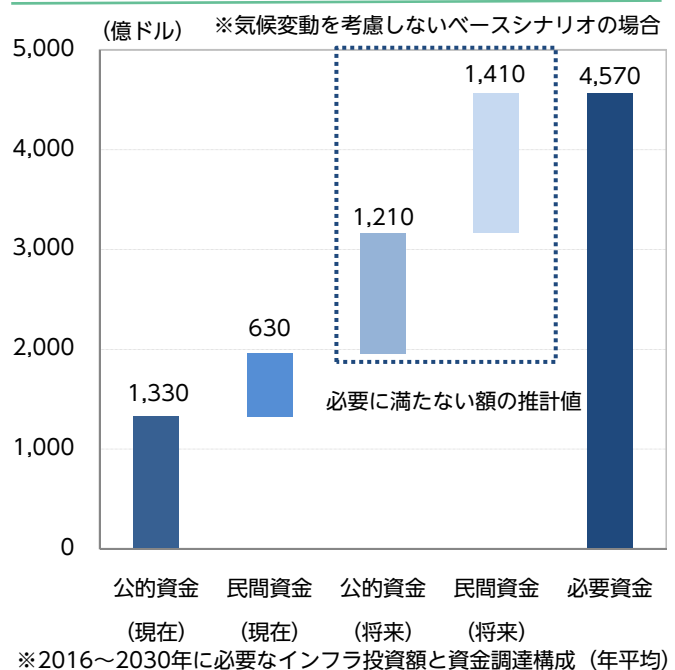
図表1：インフラ需要に投資が追い付いていない



図表2：電力や交通を中心とした投資が必要



図表3：将来の必要額は民間資金の活用が不可欠



出所：アジア開発銀行 [MEETING ASIA'S INFRASTRUCTURE NEEDS] を基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会